

採りあげられた議題は、

- 1) Link between rural attitude to family size and absence of social security protection in old-age, disability or orphanhood in rural area in Asia.
- 2) The adaptation of knowledge, attitude and practice (KAP) survey to elicit more information on the relationship between fertility motives and social security.
- 3) Social security programmes implemented or about to be implemented in rural areas, and their relationship with population policies, prevailing in selected Asian countries.
- 4) Major impediments to implementation of social security programmes in the rural areas, and possible approaches to programme development in rural social security.

の4つで、9つのセッションに分けて議論がなされた。なお、それぞれの議題についての幾つかの質問項目があらかじめ出席者に送付され、それに対する解答を用意して会議に出席するよう求められた。

人口に関する第1・2の議題に関してふれると、ILOの第一のねらいは、発展途上国における高出産力の要因の一つとして両親の老後の保障があげられる事が多いことから、もし老人に対する社会保障（年金その他の方法による）制度を整備すれば出生力は低下するのではないかという点に集約される。この点に関して人口学の専門家から、たしかに老後の保障と高出産力とは無関係ではないが、高出産力を支える要因はそれだけでなく、たとえ社会保障制度が作られても出生力が低下するかどうかは不明である。むしろ低下しないのではないか、という反論が出された。社会制度、家族制度などの関連でのもっと深い研究が必要であるというのが結論であった。

高出産力と老後の保障との関係は、各地で行なわれてきた出生力調査、家族計画のための調査、両親の子供に対する意識調査などの、いわゆるKAPサーベイから出された結論の一つである。KAPサーベイに関しては、発展途上国、とくにアジアの農村におけるこの種の調査結果が現実の本当の姿を示しているかは疑問の点が多いという議論が中心となり、アジアの農村のための調査の方法が十分検討されなければならない事、親の子供に対する態度などの社会心理学的視点を含む出生力調査がもっと進められるべきであると結論された。

(河邊 宏記)

出生力転換に関する京都会議

特に、中国文化の影響の著しいアジアの諸地域における出生力転換についての注目すべき専門家会議が、京都大学東南アジア研究センターと東西センター・人口研究所（ハワイ）の共催によって、京都において開催された。1975年12月1日から5日までの5日間にわたり、京都プリンス・ホテルで行なわれた。そのagendaは下掲のとおりである。

この会議の1つの重要な特徴は、1974年2月突如逝去されたプリンストン大学の人口学者アイリーン・トイバー女史が中国文化の影響の著しい地域における出生力転換の事実に着目され、その科学的研究の必要性を常々主張されていたその遺志が、アジア人の専門家達によって実現されたということである。

アメリカからは、アジア人口に詳しいR. Freedman教授（ミンガン大学）が終始、会議に出席され、貴重な助言を惜しまれなかったことが、会議を成功に導く大きな要因となったことを忘れてはならない。プリンストンのA. J. Coale教授はやむなく早期に帰国された。East-West Population Instituteの所長であるLee-Jay Cho博士の精力的な指導力とすぐれた話術が、会議をしてなごやかにし、真摯な雰囲気のものたらしめたことは特筆すべきであろう。

出生力転換はどのように可能であったか？ その転換の経験の他の地域への適用の可能性といった諸問題についての結論がでたわけではない。また、結論を期待した会議でもない。まず、事実を具体的に明らかにし、

その事実を社会経済の totality の中で位置づけようと、われわれは努力を試みたわけである。この京都会議が、アジアの出生力転換についての科学的関心を高め、政策論的研究への発展を促すことになれば幸いである。最後に、この開催の実現に努力を惜しまれなかった京都大学小林和正教授とハワイ人口研究所長 Lee - Jay Cho 教授に厚く感謝の意を表したいと思う。

KYOTO CONFERENCE ON FERTILITY TRANSITION

December 1 - 5, 1975

AGENDA (FINAL)

Monday, December 1, 1975

9:30 - 10:00 Registration of Participants

10:00 - 11:00 *Chairman: K. Kobayashi*

1. Welcoming Speech: Shinichi Ichimura

2. Opening Address: Lee - Jay Cho

14:00 - 15:20 *Chairman: R. Freedman*

3. "The Demographic Transition": Ansley J. Coale

Tuesday, December 2, 1975

9:00 - 10:20 *Chairman: Y. S. Matsumoto*

4. "On Its Way to Zero Growth - Fertility Transition in Taiwan Area, Republic of China -" : T. H. Sun and Y. L. Soong

Discussant: R. Freedman

10:40 - 12:00 *Chairman: Y. S. Matsumoto*

5. "Chinese Tradition and Fertility Behavior in Taiwan - An Economic View -" : P. K. C. Liu

Discussant: Saw Swee - Hock

14:00 - 15:20 *Chairman: T. H. Sun*

6. "Recent and Future Trends in Hong Kong": B. Mok

Discussant: R. Retherford

15:40 - 17:00 *Chairman: T. H. Sun*

7. "Demographic Transition in Korea": H. Y. Lee

"Transition of Family Building in Korea: 1960 - 1970" : C. B. Park

Discussant: G. P. Cernada

Wednesday, December 3, 1975

9:00 - 10:20 *Chairman: B. Mok*

8. "The Japanese Fertility Decline in Historical Perspective": S. B. Hanley

Discussant: Y. Yasuba

10:40 - 12:00 *Chairman: B. Mok*

9. "Trends and Regional Variations of Marital Fertility in Japan" : K. Kobayashi & Y. Tsubouchi

Discussant: C. B. Park

- 13:45 - 15:00 *Chairman: Saw Swee-Hock*
 10. "Historical Perspective of Fertility Transition of Hawaii's Japanese"
 : Y. S. Matsumoto & Eleanor C. Nordyke
 Discussant: Y. Okazaki
- 15:15 - 17:00 *Chairman: T. Kuroda*
 11. Panel Discussion on "Comparative Fertility Transitions in East Asia"
 Panel: G. P. Cernada, L. J. Cho, S. B. Hanley, P. K. C. Liu, Y. Okazaki
- Thursday, December 4, 1975
- 9:00 - 10:20 *Chairman: S. B. Hanley*
 12. "Population Policies and Fertility Declines in Singapore" : Saw
 Swee-Hock
 Discussant: B. Mok
- 10:40 - 12:00 *Chairman: S. B. Hanley*
 13. "Pattern of Fertility Decline among Malaysian Chinese" : V. T. Palan
 (Speaker: L. J. Cho)
 Discussant: P. K. C. Liu
- Friday, December 5, 1975
- 9:00 - 10:15 *Chairman: Y. Yasuba*
 14. "Recent Fertility Trends in Indonesia" : Azwini
 Discussant: L. J. Cho
- 10:30 - 12:00 *Chairman: L. J. Cho*
 15. Panel Discussion on "Comparative Fertility Transitions in Southeast
 Asia"
 Panel: Azwini, B. L. Boulier, R. Retherford, Saw Swee-Hock, T. H.
 Sun
- 14:00 - 15:20 *Chairman: L. J. Cho*
 16. Overview of Conference: R. Freedman
- 15:20 - 15:40 Coffee break
- 15:40 - 17:00 *Chairman: L. J. Cho*
 17. General Discussions and Recommendations

(黒田俊夫記)

昭和50年国勢調査の結果(概数)

昭和50年10月1日に実施された第12回国勢調査による全国都道府県市区町村の世帯および人口概数が、同年12月10日、総理府統計局より発表されたので、都道府県別に関する結果表と既往の各回国勢調査による全国世帯数と人口の推移表をここに載録する。ここに示されている世帯および人口概数は、昭和50年10月1日午前零時現在で行なわれた調査の結果の速報であって、都道府県および市町村から提出された要計表に基づいて集計されたものである。したがって、後日個々の調査票から直接集計して発表される予定の確定数とは必ずしも一致しない。

昭和50年国勢調査は、調査時点に本邦内に常住する者について行なわれているが、次の者は除外されている。すなわち、(1)外国軍隊の軍人・軍属およびその家族、(2)外国の外交団領事団(随員および家族を含む)。